社会福祉法人三松会　令和４年度　事業計画

地域共生社会の実現に向けた施策が展開される中、社会福祉法人が取り組む「地域における公益的な取り組み」の充実・継続が、地域づくりの重要な鍵となります。また引き続きコロナ禍における新たな生活様式に対応した社会福祉法人のあり方を検討していく必要があります。感染症や災害などへの備えをすすめるとともに、高い透明性と非営利法人にふさわしいガバナンスを兼ね備えた持続可能な法人運営を強化するとともに、社会に対して積極的に発信していくことが求められています。

このような環境下、当法人は基本理念である「地域で人と人とのつながりを大切にし、安心して心豊かに暮らせるよう“共に生き支えあう地域”の実現を目指します。」を具体化し、諸制度改正への対応、深刻な人材不足など変化を続ける経営環境に対し、健全かつ安定的な経営を確保しながら、人材の確保・養成を進め、質の高い福祉サービスの提供や福祉を目的とする様々な事業を実施するため関係する各種機関や地域との連携をより一層深めます。さらに今日・将来的課題に関する情報の収集・分析・検討について以下の項目を中心に時機を見極め適切な対応を図るものとします。

１．法人経営基盤の強化

（１）安定的な利用者の確保

（２）地域に根差した活動による知名度の向上

（３）総合福祉センターとしてのコンサルティング機能の発揮

（４）安定的な経営を確保するための施策の検討

２．質の向上に向けた取組推進

（１）多職種による情報の共有や活用により実施事業の機能を連動させ、相乗効果を発揮することによる組織の質の向上

（２）利用者に対する支援内容の充実を図ることによるサービスの質の向上

（３）サービスの担い手である職員の質の向上

３．地域との連携

（１）レクリエーションの共同開催等地域住民、ボランティア団体等の連携及び協力

（２）地元消防団、地域住民等との非常災害時における連携体制の整備

４．その他

（１）新型コロナウイルス感染症への対応

（２）人材の確保

以　上